

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成11年5月24日 第8報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	2300		
(黄鞭) <i>Chromulina sp.</i>	80		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	40		
(黄鞭) <i>Mallomonas tonsurata</i>	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas sp.</i>	20		
(黄鞭) <i>Pseudopedinella sp.</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima</i>	170		
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima f. spiralis</i>	380		
(珪) <i>Cyclotella sp.</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	890		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	80		
(珪) <i>Synedra sp.</i>	10		
(珪) <i>Acnanthes minutissima</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	20		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	340		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	1400		
(緑) <i>Chlamydomonas sp.</i>	10		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus var. mirabile</i>	10		
(他) <i>Nephroselmis sp.</i>	10		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	2460	42.1	33.0
(珪) 珪藻綱	1590	27.2	25.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	0.3	0.3
(褐) 褐色鞭毛藻綱	1740	29.8	40.8
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	20	0.3	0.3
(他) その他のプランクトン	10	0.2	0.1
総細胞数	5840	総体積	2.0E+06
種類数	21	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第1優占種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	180

第2優占種		個体数 (個体/l)
甲殻類	<i>Bosmina longirostris</i>	80

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

琵琶湖における淡水赤潮
の原因プランクトンになっ
ている種類である。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の
羽状の付属物が4ヶ所
付いている。
前部に2本の触角がある。

コメント:

昨日までに延べ5回、淡水赤潮が発生したが、今日は天候が雨となり風も強い
ため、ウログレナの数には減少傾向となっている。

(5月10日:13000 5月17日:4200 5月24日:2300細胞/ml)

動物プランクトンで優占となったハネウデワムシは、琵琶湖で年中観察されるが
特に春季に多くみられる。